

COLOR LCD MONITOR

液晶モニタ・
ユーザーズマニュアル

LCM-TT151A/S

Logitech

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
付属品の確認	6
第1章 製品のご紹介	7
1.1 製品の概要	7
1.2 各部の名称と機能	10
1.3 取り扱いなどについて	12
第2章 接続について	13
2.1 接続について	13
2.2 接続後の作業	15
2.3 アームを取り付ける場合は	17
第3章 調整について	18
3.1 自動調整について	18
3.2 ワンタッチ調整	19
第4章 OSDメニュー	20
4.1 OSDメニューの起動	20
4.2 各項目の説明	21
4.3 OSDロック機能について	27
第5章 トラブルシューティング	28
ハードウェア仕様一覧表	30

取扱い上のご注意



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



LCD パネルが破損した場合は

LCD パネルが破損すると、内部の液体（液晶）がもれることがあります。このような場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないように十分ご注意ください。万一、眼や口に入った場合は、速やかに水ですすぎ、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服についた場合は、アルコールなどでふき取り、石鹸で水洗いしてください。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源コードをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



正しい電源で

使用してください。

電源コードは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被覆が破れて感電/火災の原因となります。



⚠️ 注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



感電注意



高温注意



ケガに注意

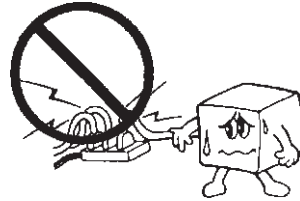


分解禁止

分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解しないでください。故障、感電、火災の原因となります。分解の必要が生じた場合は、販売店にご相談ください。

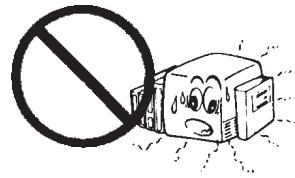
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



注意

内部に異物を入れないでください。

本製品内部に水などの液体や金属片を入れると、故障、感電、火災の原因となります。



その他の
禁止事項

LCD パネルの取り扱い

LCD パネルに圧力を加えないでください。表示異常の原因となったり、LCD パネルの破損につながります。

LCD パネルの表面に硬いものをあてたり、こすったりしないでください。LCD パネルの傷や破損につながります。



その他の
禁止事項

使用環境について

本製品は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

本製品を収納する際は、付属の梱包材を使用して安定した場所に収納してください。高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



その他の
禁止事項

本製品が汚れた場合は

本製品が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



その他の
注意事項

本製品を廃棄する場合は

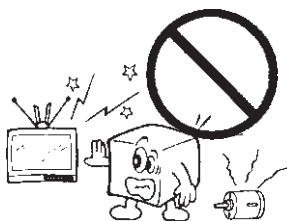
本製品が必要となくなった場合は、弊社にて受け付けております個人向け PC リサイクルシステムをご利用いただくか、地方自治体の条例等にしながら正しく廃棄処分を行ってください。



その他の
注意事項

注意

ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

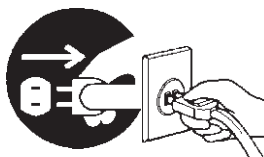


1・2・3・4・5

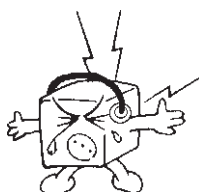
電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



本製品を使用して音声を再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



視力の低下などを防止するため、以下の点にご注意ください。

- ・屋内の適度な明るさの場所でご使用ください。
- ・画面の明るさやコントラストは適切なレベルまで調整してください。
- ・自然な姿勢で正面から見られるように角度を調整してください。
- ・長時間使用する場合は、定期的に休憩を取って目を休めてください。
- ・市販のフィルタには紫外線などを防止する効果のあるものもあります。

ごあいさつ

この度は弊社カラー液晶モニターをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はカラー液晶モニターに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社カラー液晶モニターによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS³-DOS、Windows³は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh³、Mac³ OSはアップルコンピュータ社の登録商標です。

VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。



ご注意

液晶モニタは膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で少数のドットに欠落、変色、発光が見られることがありますが、これはTFT液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。

付属品の確認

TFT液晶モニタ	1台
アナログ信号ケーブル	1本
ACアダプタ	1本
ACコード	1本
保証書	1枚
液晶モニタ・ユーザーズマニュアル	本書
USBケーブル	1本
オーディオケーブル	1本

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

第1章 製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品は、1024ドット×768ライン（XGA）の解像度に対応した、アナログ入力対応のタッチパネル搭載15型カラー液晶モニターです。各社のDOS/Vパソコン、日本電気株式会社のPC98-NXシリーズおよびPC-9800シリーズ、アップルコンピュータ社のMacintoshシリーズなどに接続して使用することができます。

本製品の特徴

本製品はUSBで接続し、ドライバーソフトをインストールすればタッチパネルでパソコンの操作が可能。

タッチパネルは、異物による誤作動が少ない対抗膜方式パネル採用。

頑丈なベースを採用しているためタッチしてもモニターが揺れることはありません。また盗難防止キーの取付やVESA規格のアーム(75mmピッチ)の取付が可能です。

本製品の調整は画面上にオーバーレイ表示されるOSDメニュー（On Screen Display Menu）から行うことができます。本製品ではOSDメニューが日本語で表示されます。また、画面調整内容を他人が勝手に変更できないよう、OSDメニューにはロック機能が付いています。

背面及びスタンドに盗難防止キーの取り付け可能なケンジントンセキュリティスロット準拠の取り付け穴を装備しています。

アンプ付のステレオスピーカを内蔵しているのでパソコンからの音声を本製品より出力することができます。

DCC 1/2Bに対応したプラグ&プレイ機能を持っているので、プラグ&プレイ対応のOSを使用することによって、最適な同期周波数などを自動設定することができます。

従来のCRTモニター接続と変わらないアナログ入力に対応しています。

RoHS指令に準拠した環境に優しい製品です。

接続可能なパソコン

本製品は以下のようなパソコンに接続して使用することができます。

各社 DOS/V パソコン

日本電気株式会社 PC98-NX シリーズ

水平周波数31.49KHzをサポートした

日本電気株式会社 PC-9800 シリーズ

セイコーエプソン株式会社 EPSON PC シリーズ

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズ

どのパソコンの場合も、以下の条件を満足しなければなりません。

アナログ入力でご使用の場合は、ミニD-sub15ピンのRGBコネクタを搭載していること。または接続アダプタ(*1)を使用して接続が可能なこと。

使用するビデオボード、ビデオドライバ、OSが次ページの表に記載されたディスプレイモードのどれかをサポートしていること。

*1 接続アダプタを使用する機種については14ページを参照してください。



ご注意

- ・本製品は98MATE / 98FELLOW以前のPC-9800シリーズおよびEPSON PCシリーズで水平周波数：31.49KHzに対応していない機種をサポートしていません。ご使用のパソコン本体が31.49KHzに対応しているかどうかパソコン本体の取扱説明書でご確認ください。
 - ・本製品はインターレースモードをサポートしていません。使用可能なディスプレイモードについては、次ページの表をご参照ください。
-

サポートされるディスプレイモード

解像度	水平周波数	垂直周波数
640 × 350	31.47KHz	70.08Hz
640 × 400	31.47KHz	70.08Hz
720 × 400	31.47KHz	70.08Hz
640 × 480	31.47KHz	59.94Hz
640 × 480	35.00KHz	66.67Hz
640 × 480	37.86KHz	72.80Hz
640 × 480	37.50KHz	75.00Hz
800 × 600	35.16KHz	56.25Hz
800 × 600	37.88KHz	60.32Hz
800 × 600	48.08KHz	72.19Hz
800 × 600	46.86KHz	75.00Hz
832 × 624	49.73KHz	74.55Hz
1024 × 768	48.36KHz	60.00Hz
1024 × 768	56.48KHz	70.07Hz
1024 × 768	60.24KHz	74.93Hz
1024 × 768	60.02KHz	75.03Hz

すべてノンインターレースモードのみ。

1.2 各部の名称と機能

本製品側面

電源表示ランプ

本製品の電源がONになると緑色に点灯し、パソコンがスタンバイ状態になるなどにより、本製品が省電力モードになるとオレンジ色に点灯します。

電源ボタン

本製品の電源をON/OFFします。

セレクト / オートボタン

OSDメニュー起動時に、項目を選択する際に使用します。また、OSDメニューが起動していないときにこのボタンを押すと、画面の自動調整を行います。

プラス (+) ボタン、 マイナス (-) ボタン

OSDメニュー起動時に、メニューの選択や設定値の増減をする際に使用します。また、OSDメニューを起動していないときは、上ボタンを押すと輝度(画面の明るさ)を、下ボタンを押すとミュート(スピーカから音を出す、出さない)を、それぞれワンタッチで行う事ができます。(「第3章 調整について」参照)

メニューボタン

このボタンを押すと本製品の設定を行うOSDメニューが起動します。OSDメニューについては第4章をご参照ください。

本製品背面

角度固定用ツマミ

液晶の角度を固定するためのツマミです。

電源コネクタ

付属のACアダプタを接続します。

アナログ入力コネクタ

付属のアナログ信号ケーブルを使用して、パソコン本体(ビデオボード)のRGBケーブルと接続します。

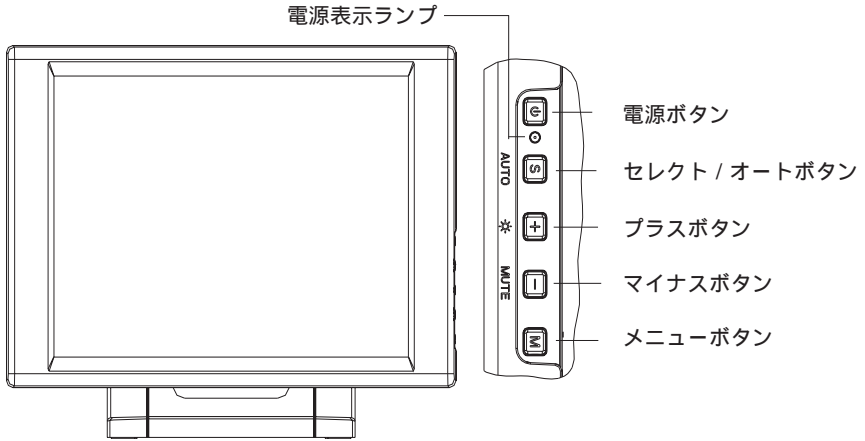
オーディオイン端子

本製品内蔵スピーカから音声を出力する場合に、付属のオーディオケーブルを使用してパソコンのラインアウト端子と接続します。

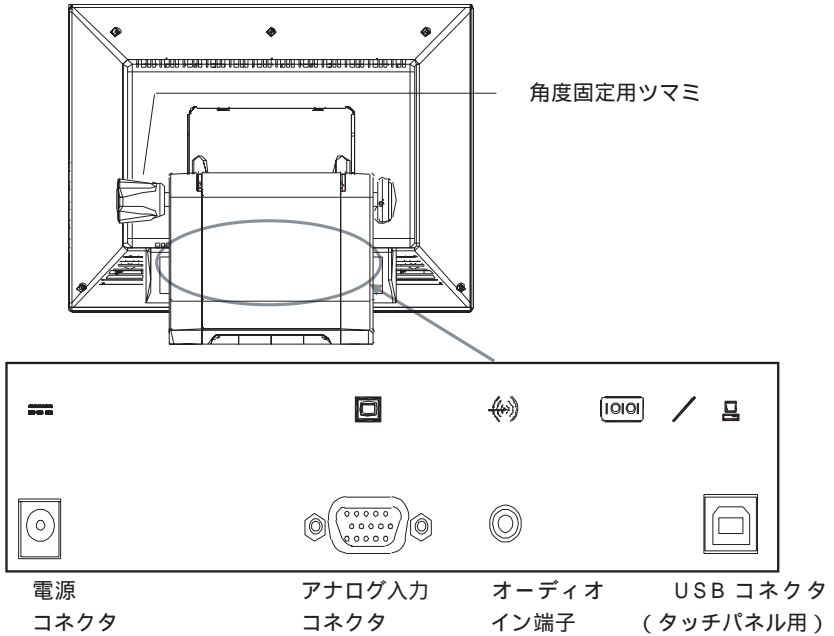
USBコネクタ(タッチパネル用)

本製品内蔵のタッチパネルを使用する際場合に、付属のUSBケーブルを使用してパソコンのUSBコネクタと接続します。

本製品前面



本製品背面

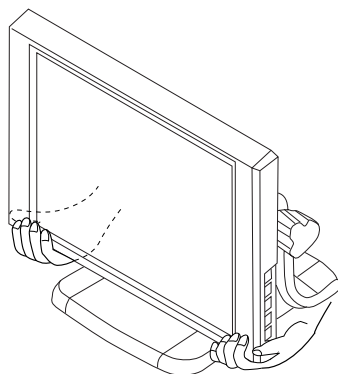


1 . 3 取り扱いなどについて

本製品を持ち運ぶ場合は...

本製品を持ち運ぶ場合は、必ず両手で下図の位置を持ってください。

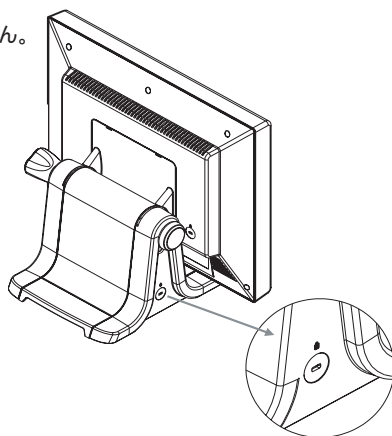
1



盗難防止キー取付穴

本製品にはケンジントンセキュリティスロットに準拠した盗難防止キー取付穴が付いております。(下図参照)

盗難防止キーは付属品ではございません。



第2章 接続について

2.1 接続について

本製品への接続方法

本製品の接続は以下の手順で行います。

本製品のコネクタの位置は、スタンドの裏側にあるため、接続の際は、安定した場所でやわらかい布などの上に、本製品の液晶面が下になるように寝かせると便利です。この時、液晶面に傷がつかないようにご注意ください。また、接続の際は各コネクタの方向をよく確認してください。

本製品背面に AC アダプタのコネクタを接続します。

本製品電源コネクタに本製品付属の AC アダプタのコネクタを接続します。(下図参照) AC アダプタには付属の AC コードを接続しておいてください。

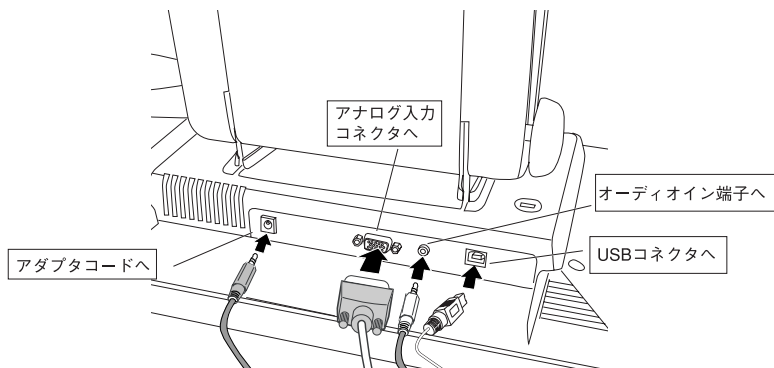
本製品背面に信号ケーブル、オーディオケーブル、USB ケーブル (タッチパネル用) を接続します。

アナログ入力でご使用の場合は、付属のアナログ信号ケーブルを本製品背面のアナログ入力コネクタに接続します。(下図参照)

タッチパネル機能を有効にするために、付属の USB ケーブルを本製品背面の USB コネクタに接続します。(下図参照)

また、本製品内蔵スピーカーから音声を出力したい場合、付属のオーディオケーブルを本製品背面のオーディオイン端子に接続します。(下図参照)

接続に使用しないケーブルは大切に保管しておいてください。



パソコン本体への接続方法

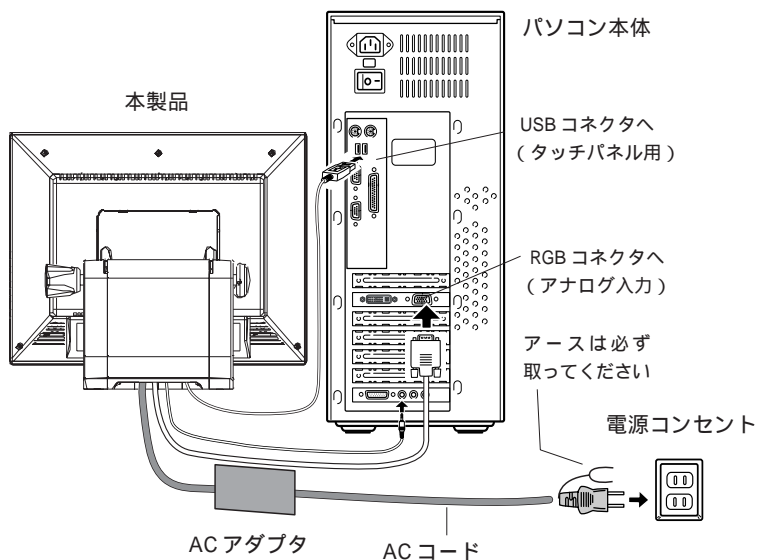
信号ケーブル、USBケーブル、オーディオケーブルを接続します。

下図を参照に、スタンド裏側より出ている、ビデオケーブルのコネクタをパソコン本体のRGBコネクタ（アナログ入力）へ接続してください。

アダプタが必要なパソコンをお使いの場合はビデオケーブルの先に接続アダプタを接続してください。（次ページ参照）

USBケーブルをパソコンのUSBコネクタへ取り付けます。

次にオーディオケーブルをパソコンのスピーカー端子またはアウトライン端子へ取り付けます。



本製品付属のACコードをAC100Vのコンセントに接続します。

この際、必ずアースを取るようになしてください。



ご注意

- ・接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。
- ・本製品の接続は安定した場所で、片方の手で本製品をしっかり支えて、落とさないように注意して行ってください。



ご注意

- ・本製品をMacintoshシリーズの旧機種(標準D-sub15ピンのRGBコネクタを持つ機種)に接続する場合には、市販のMacintosh用接続アダプタをご使用ください。
- ・本製品をPC-9821シリーズの旧機種(標準D-sub15ピンのRGBコネクタを持つ機種)に接続する場合は、市販のPC-9821シリーズ用接続アダプタをご使用ください。(この接続アダプタを使用しても、水平同期周波数31.47KHzをサポートしていないパソコンで本製品を使用することはできません。)

2.2 接続後の作業

本製品は、モニタプラグ&プレイ機能(VESA™ DDC™ 1/2B規格対応)を搭載しているためこの機能に対応しているパソコンに接続すると、モニタ情報が自動的に認識されます。初めてモニタとコンピュータを接続して起動したときに設定用のウィザードが表示された場合は、手順にしたがって「次へ」をクリックしていくとプラグ&プレイモニタとして自動認識され使用可能になります。

タッチパネルドライバインストール方法

付属のCD-ROMからドライバをインストールするとタッチパネルの機能が有効となります。

パソコンとモニタを、USBケーブルで接続してください。

付属のCD-ROMをパソコンのCD/DVDドライブにセットします。

自動的にセットアップランチャーが起動したら、「USBタッチパネルドライバのインストール」をクリックしてください。

USBドライバのタイプ選択の画面が表示されたら、「7線式」をクリックして下さい。

あとは表示される手順に従いインストールを実行してください。場合によって、再起動する必要がございます。

詳細は付属のCD-ROMのReadme.txtを参照ください。

タッチパネルドライバのアンインストール方法

以下の手順により、タッチパネルドライバのアンインストールができます。

「スタート」 (「設定」) 「コントロールパネル」をクリックします。
WindowsXP では「プログラムの追加と削除」、その他の Windows OS では「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「Fujitsu Touch Panel(USB)」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックします。
環境によっては、別の名称で表示されることがあります。
そのような場合は、その名称をクリックしてください。
あとは表示される手順に従いアンインストールを実行して下さい。
場合によっては再起動する必要があります。

その他

以下の手順により、タッチパネルの設定を行なうことができます。

位置合わせ

以下の手順により、タッチ箇所の補正を行なう事ができます。

「スタート」 「(すべての) プログラム」 「Fujitsu Touch Panel (USB)」
「補正ツール」をクリックします。
指定された 12 点の + 印をタッチします。
「補正計算」をタッチします。
「保存して終了」をタッチして完了です。

その他の設定

以下の手順により、右クリック 等の設定を行なう事ができます。

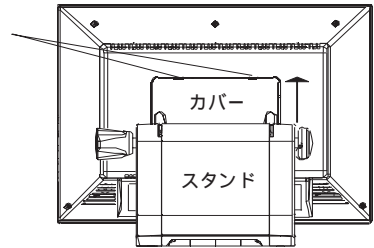
「スタート」 「(すべての) プログラム」 「Fujitsu Touch Panel (USB)」
「タッチパネルの設定」をクリックします。
画面の指示に従い、任意で設定を行なってください。

2.3 アームを取り付ける場合は

本製品はVESA規格の75mmピッチアームを取り付けることができます。アームを使用する場合は、本製品背面のスタンドを固定しているネジ(4箇所)を外して本体からスタンドを外してください。

はじめに、本製品背面のスタンドカバーを取り外してください。カバー上部にある2つのツメを下へ押さえながら取り外すことができます。

この2箇所のツメを下へ押しながらカバーを上へ引き上げるように取り外します。

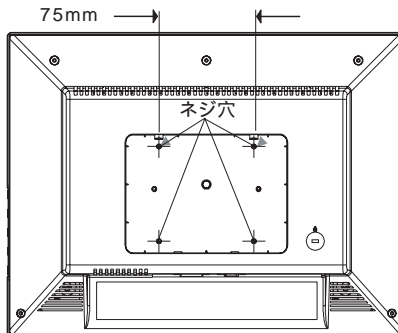


スタンドを取り外す際は、液晶面が下になる方向で安定した場所に置いて行ってください。

この際、柔らかい布などを敷いて液晶面が傷つかないように注意してください。

次に、背面4箇所のネジを取り外して、液晶部分からスタンドを取り外してください。

この部分にアームを取り付けます。



取り付け方法についてはアームの取扱説明書をご参照ください。

第3章 調整について

3.1 自動調整について

本製品を出荷時の状態で使用すると、まれに画面に縦縞が見えたり、画面がちらついて見える場合があります。これはパソコン本体から出力されるアナログRGB信号と本製品のタイミングが合っていない場合に起こります。

そのような場合「セレクト/オートボタン」を押すと周波数と画面の位置の自動調整が行われます。通常は自動調整を行えば画面の調整を終了することができます。



 このボタンを押します。

自動調整

細かな設定を行う場合や調整がうまく行かない場合にはOSDメニューから表示される各項目の設定を行ってください。OSDメニューについては第4章をご参照ください。



ご注意

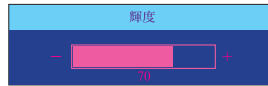
- 調整を行う場合は、本製品の電源をONにした後、機器が安定するまで15分ほどお待ちください。
- 自動調整で画面に縦縞や横縞があり、それをOSDメニューから手動で修正した場合、再度自動調整機能を使用すると、画面が縦縞や横縞があった状態に戻ってしまいますのでご注意ください。

3.2 ワンタッチ調整

本製品は以下のボタンを押すことでワンタッチで明るさの自動調整とミュートの切替を行うことができます。



プラスボタンを押すと輝度調整画面が表示されます。
が表示されます。



上記のように画面に表示されます。
プラスボタン、マイナスボタンで値を調整します。
メニューボタンを押すと、設定を保存して調整を終了
します。



マイナスボタンを押すとミュート ON/OFF 画面が
表示されます。

ミュートオフ

ミュート

上記のように画面に表示されます。
ミュートとは、スピーカーから音が出ない状態のこと
です。

第4章

OSDメニュー

4.1 OSDメニューの起動

本製品の設定を手動で行いたい場合は、画面にオーバーレイ表示されるOSD (On Screen Display) メニューから行います。OSDメニューを表示したいときには、本製品の「メニューボタン」を押してください。



このボタンを押してください。

以下のようなウィンドウが表示されます。これがOSDメニューです。



選択されている項目

項目から項目へカーソルを移動する場合は、セレクト/オートボタンを押します。メインメニューのページはメニューボタンで切り替えます。

OSDメニュー

赤色に反転している項目が現在選択されている項目です。

ボタン操作は以下の通りです。

「メニューボタン」 OSDメニューを表示させます。

OSDメニューのページを切り替えます。

「プラスボタン」「マイナスボタン」 選択項目の調整を行います。

「セレクト/オートボタン」 メニュー内の項目を切り替えます。

4.2 各項目の説明

OSDメニューからは以下の各調整が可能です。

自動調整	画面の位置、入力信号を自動的に調整します。
コントラスト	画面のコントラスト(明るいところと暗いところの差)を調整します。
輝度	画面の明るさを調整します。
水平位置	画面の水平位置を調整します。
垂直位置	画面の垂直位置を調整します。
クロック	ビデオ信号のサンプリングタイムを調整します。
フェーズ	ビデオ信号のサンプリング周波数を調整します。
オフタイム	OSDメニューの表示時間を設定します。
言語	OSDメニューで表示する言語を選択します。
シャープネス	画面のシャープネス(鮮明さ)を調整します。
リセット	全ての設定を工場出荷時の値に戻します。
音量	音量の調整をします。
ミュート	ミュートのオン/オフの切替をします。
カラー調整	色温度およびカスタムでのカラーバランスを調節します。



ご注意

より精度の高い調整を行う場合は、電源をONにした後、機器が安定するまで15分ほどお待ちになってから調整してください。

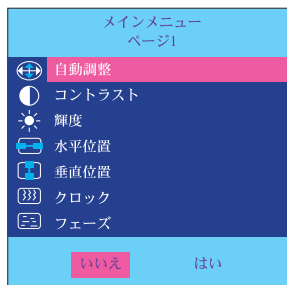


ポイント

OSDメニューを表示した状態で、一定時間何も操作を行わないとOSDメニューが自動的に終了し、設定内容が保存されます。

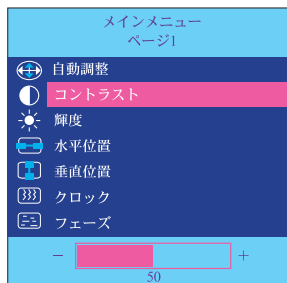
AUTO ADJUST (自動調整)

セレクト / オートボタンを押すか、またはページ1を表示させ、右記の画面でプラスボタンを押します。画面の位置、入力信号の自動調整が実行されます。自動調整後は、OSDメニューが終了します。



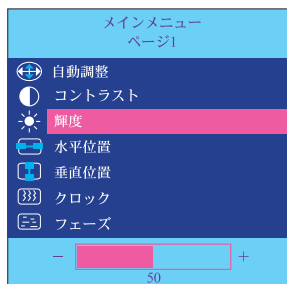
コントラスト

コントラストが選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



輝度

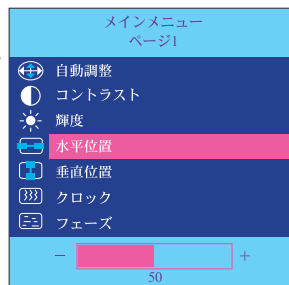
輝度が選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



本製品の明るさの調整は、仕様によりバックライトの明るさではなく、ゲインコントロールで入力信号を電氣的に増幅する方式をとっています。この方式はバックライトの明るさを調整する方式に比べて、明るさの変化が大きくありませんが、これはモニタの異常ではありません。明るさの変化が分かりにくい場合は、モニタ上に白い画面を表示して、調整を試みてください。

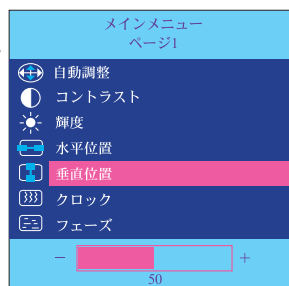
水平位置

水平位置が選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



垂直位置

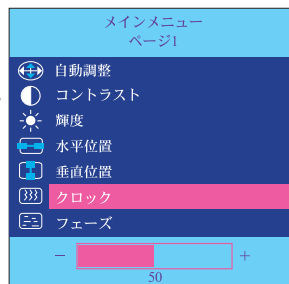
垂直位置が選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



クロック

クロックは画面に縦縞が出るときに調整します。

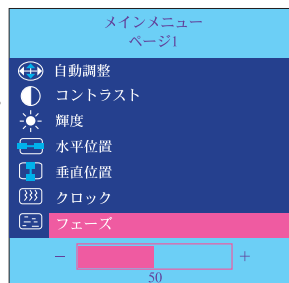
クロックが選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



フェーズ

フェーズは画面がちらつくときに調整します。

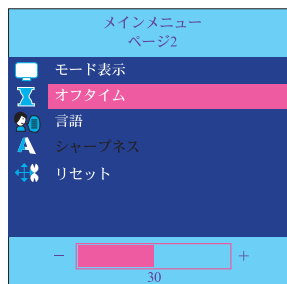
フェーズが選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



オフタイム

オフタイムはOSDメニューの表示時間を調整します。

オフタイムが選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



言語

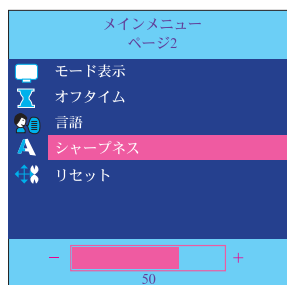
言語が選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して選択してください。選択後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



日本語以外の言語はサポートしておりませんので、ご使用にならないで下さい。

シャープネス

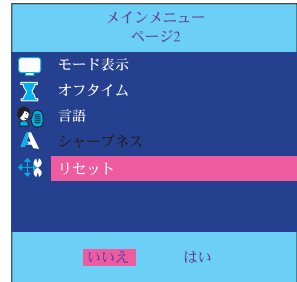
シャープネスが選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



シャープネス は 1024 ドット × 768 ライン (XGA) ではない解像度で表示させた場合のみ調整が可能になります。

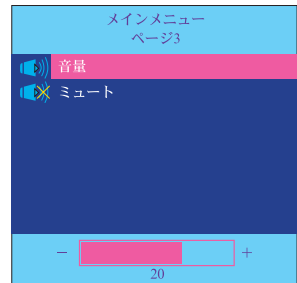
リセット

リセットが選択されている状態で、プラスボタンを押すと、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります（リセット）。
実行後は、OSDメニューが終了します。



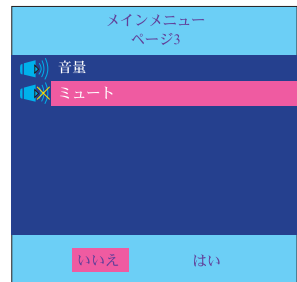
音量

音量が選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンを使用して調整してください。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



ミュート

ミュートが選択されている状態で、プラスボタン、マイナスボタンでオン/オフを選択します。



カラー設定

ページ4を表示させます。画面の色温度を選択する場合は、プラスボタンかマイナスボタンで9300kまたは6500kを選択します。(カスタムを選択する場合は下記をご参照ください。)

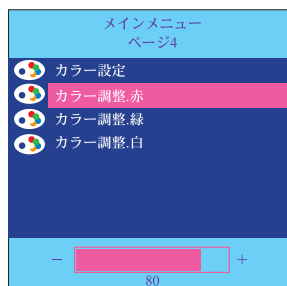


参考

9300K では画面の青味が強くなり、6500K では赤みが強くなります。

カスタムを選択する場合

上の画面でカスタムを選択する場合、プラスボタンかマイナスボタンで「カスタム」にあわせてからセレクトボタンを押してください。右記の画面に切り替わります。ここでは赤・緑・青の色をそれぞれ調整することができます。それぞれ調整する色を選択したあと(その色の部分が赤色に反転し、調整可能となります)プラスボタン、マイナスボタンで調整します。調整後、メニューボタンを押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



4 . 3 OSD ロック機能について

本製品には、他人が勝手に電源を切ったり、設定した画面調整内容を変更できないよう、OSDメニューにロックをかけておくことができます。

電源ボタンロック機能

電源ボタンロック機能を設定すると、電源ボタンを押しても電源が切れないようになります。

電源ボタンロックの設定 / 解除方法

「メニューボタン」と「プラスボタン」を同時に3秒以上押し続けます。

OSD ボタンロック機能

OSDメニューロック機能を設定すると、OSDメニューがロックされ、変更することができなくなります。

OSD ボタンロックの設定 / 解除方法

「メニューボタン」と「マイナスボタン」を同時に3秒以上押し続けます。

第5章

トラブルシューティング

本製品の電源がONにならない。

- ・ ACアダプタの接続、コンセントの状態を確認してみてください。

画面に「信号なし、パワーセーブモード」と表示され、電源表示ランプがオレンジ色に点灯したままになる。

- ・ ビデオケーブルの接続状態を確認してみてください。
- ・ パソコンがスリープ状態になっていないかどうかを確認してください。

画面が上半分しか表示されない。

- ・ 画面モードが「インターレースモード」になっていませんか？本製品は必ず「ノンインターレースモード」でご使用ください。設定の方法はご使用のビデオボード（もしくはパソコン本体）の取扱説明書をご参照ください。

画面に「アウトオブレンジ」という文字が表示される。

- ・ その画面解像度および水平／垂直周波数は、本製品のサポートしているもの（P.9）ではありません。正しい画面解像度（もしくは水平／垂直周波数）でご使用ください。

画面が上下左右に偏って表示される。

画面に縦縞が見える。画面にちらつきがある。

- ・ 第3章を参照して、自動調整を行ってください。
- ・ もし、自動調整を行っても症状が改善されない場合は、OSDメニューから手動設定を行ってください。画面の偏りは「水平位置」「垂直位置」で調整します。画面に縦縞が見える場合は「クロック」で、画面のちらつきは「フェーズ」で調整します

OSDメニューの輝度の調整で、明るさの変化が小さい。

- ・ 本製品の明るさの調整は、仕様によりバックライトの明るさではなく、ゲインコントロールで入力信号を電氣的に増幅する方式をとっています。この方式はバックライトの明るさを調整する方式に比べて、明るさの変化が大きくありませんが、これはディスプレイの異常ではありません。
明るさの変化が分かりにくい場合は、ディスプレイ上に白い画面を表示して、調整を試みてください。

Windows , Mac OSなどでリフレッシュレートを変更したら画面が異常になった。

- ・ そのリフレッシュレート(水平/垂直周波数)は本製品のサポートしている物でない可能性があります。何もしないでしばらく待っていると元の状態に戻るため、異なるリフレッシュレートを試してみてください。

OSDメニューからリセットを実行しても何も起こらない

- ・ ご使用のパソコン側の周波数、解像度に関する設定が本製品のサポートするディスプレイモードとあっていない場合、この現象がおこる場合があります。「1.1 製品の概要」内の「サポートされるディスプレイモード」を参照し、正しいディスプレイモードでご使用ください。

その他：弊社ホームページについて

- ・ 弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」など、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

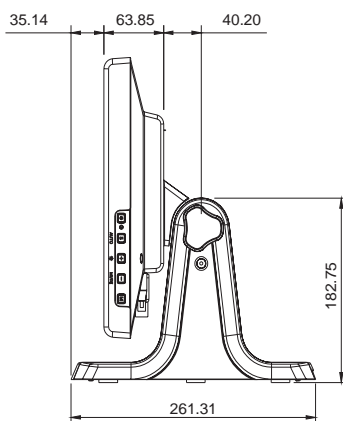
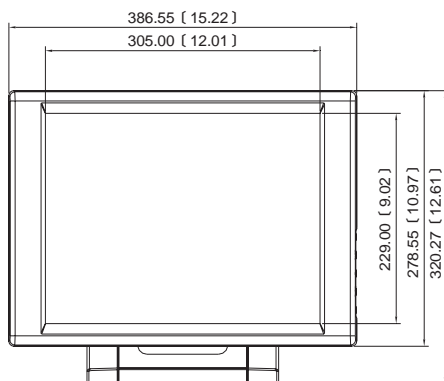
ホームページアドレス:<http://www.logitech.co.jp/>

ハードウェア仕様一覧表

型番	LCM-TT151A/S	
パネル	15型XGA TFT液晶	
解像度	1024ドット×768ライン (XGA)	
画素ピッチ	0.297mm×0.297mm	
輝度	350cd/m ²	
コントラスト比	500 : 1	
表示色	26万色	
視野角 (CR 10)	左60° 右60°、上40° 下60°	
応答速度	16ms	
バックライト寿命	50,000時間以上	
入力コネクタ	ミニD-Sub 15P	
スピーカ	ステレオ (1.5W+1.5W)	
入力信号	R,G,Bアナログ 0.7Vpp / 75 (正極性)	
同期信号	セパレート/コンポジット TTL (正/負極性)	
水平走査周波数	31KHz ~ 60KHz	
垂直走査周波数	56Hz ~ 75Hz	
適合規格	VCCI ClassB、VESA DPMS、国際エネルギースタープログラム	
P & P	VESA DDC1/2B	
その他	OSD機能 (日本語表記有り)	
環境条件 動作時	温度 5 ~ 35	湿度20% ~ 80%
保管時	温度 -20 ~ 50	湿度10% ~ 80%
入力電源	AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力 最大	40W	
定格	22W	
省電力	1W以下	
外形寸法	389mm × 261mm × 320mm (スタンド含む)	
質量 (重さ)	約5.5kg	
スタンド 傾斜角度	垂直位置から前方へ 0° 後方へ 90°	
タッチパネル仕様		
入力方式	抵抗膜方式	
通信方式	USB	
透過率	80%(Typ)	
タッチ耐久性	1,000万回以上	
対応OS	Windows XP / Windows 2000 / Windows Me / Windows 98 Second Edition	

各部の詳細サイズ

単位 mm
小数点第2位以下は四捨五入



Memo

Memo

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。(修理に代わって同等品と交換させていただく事があります)

液晶モニタの廃棄について

弊社では、資源有効利用促進法に基づき液晶モニタのリサイクルを行っております。廃棄の際には以下までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

ロジテックリサイクル受付窓口

TEL 0265-74-1447 FAX0265-74-1456

受付時間： 9:30 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00

月曜日 ~ 金曜日 (祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態(できるだけ詳しく)

製品の名称/シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先(ナビダイヤル)

TEL0570-022-022 FAX0570-033-034

受付時間 : 9:00~12:00、13:00~18:00

月曜日~金曜日(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

携帯電話(FAX)、PHS(TEL、FAX共)、IP電話(TEL、FAX共)、ひかり(光)電話(TEL、FAX共)はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・必ず、「お客様のご連絡先(ご住所/電話番号)」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・保証期間経過後の修理については、お見積り済みの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱(本製品の梱包箱、梱包材を推奨します)等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口(修理品送付先)

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター(3番受入口)

TEL:0265-74-1423 FAX:0265-74-1403

受付時間:9:00~12:00、13:00~17:00

月曜日~金曜日(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス()等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいたしますよう、お願いいたします。

Logitec 液晶モニタ・ユーザーズマニュアル LCM-TT151A/S

2006年

9月改訂

LCM-TT151A/S V02

製造元:ロジテック株式会社

Logitech

<http://www.logitech.co.jp/>